



火災警報器はどこに設置するのですか？

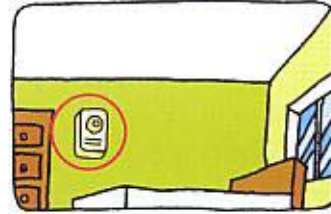
火災警報器の設置場所は…

まずは寝室をチェック

就寝に使用する部屋に設置します。(普段就寝している部屋のこと、来客が就寝するような部屋は除きます。)



子供部屋(寝室)



主寝室

次に階段をチェック

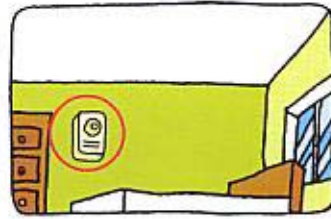
就寝に使用する部屋がある階の階段の踊り場の天井又は壁に設置します。(ただし、避難階(1階など容易に避難できる階)は除きます。)



子供部屋(寝室)



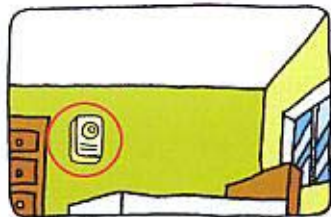
階段



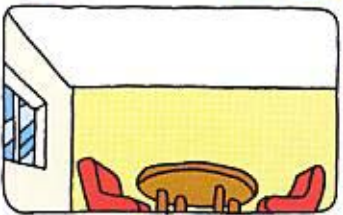
主寝室

三階建て以上はさらにチェック

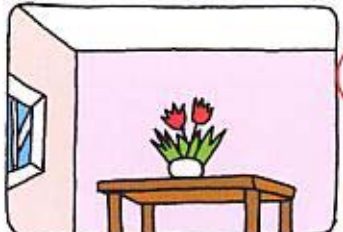
火災警報器を設置しない階で就寝に使用しない居室が2階以上連続する場合、火災警報器を取り付けた階から2階離れた居室のある階の階段に設置します。



3F



2F

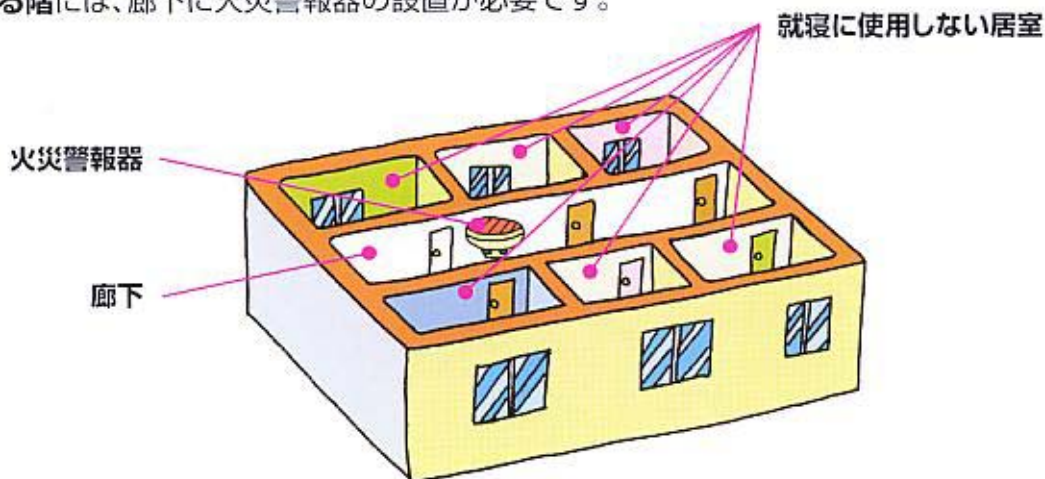


1F



火災警報器を設置しなくてもよい階のある方は、最後のチェック

今までのチェックで火災警報器を設置する必要の無かった階で、7m²（四畳半）以上の居室が5以上ある階には、廊下に火災警報器の設置が必要です。

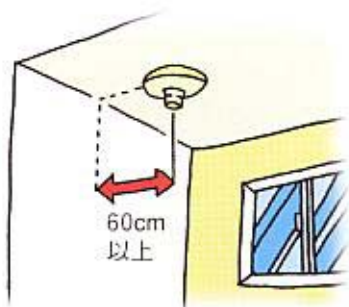


- ・設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められます。
- ・日本住宅性能表示基準に定める火災時の安全に関することで2等級以上の評価を得るためには、台所への火災警報器の設置が必要です。台所への火災警報器の設置をお勧めします。

実際に取り付けてみましょう

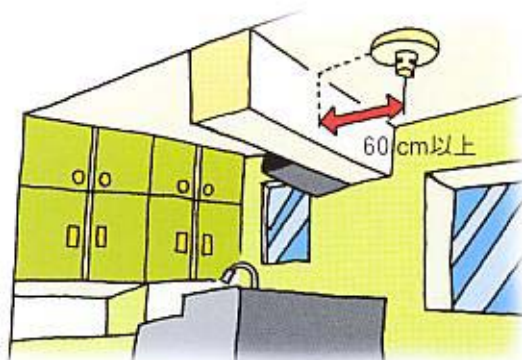
〈天井の場合〉

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



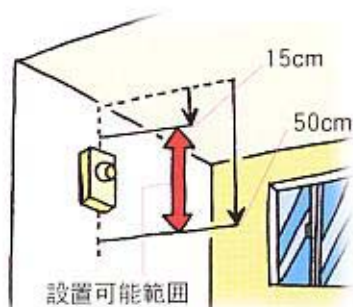
はりなどがある場合の取り付けは…

火災警報器の中心をはりから60cm以上離します。



〈壁の場合〉

天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるようにします。



エアコンなどの吹き出し口付近の取り付けは…

換気扇やエアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離します。

